

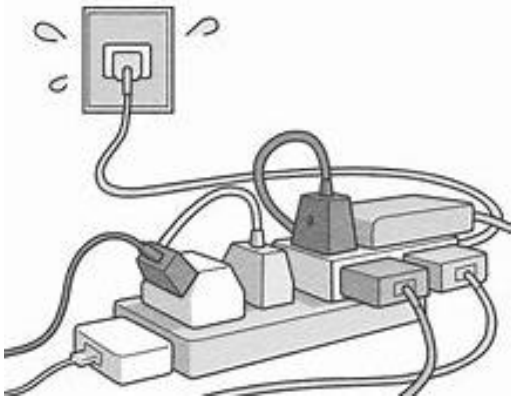
# いしかり「防火」通信

## その電気周り、**火災**になりませんか？

皆さんが毎日のように使っている【電気】は使い方を誤ると火災の大きな原因になることをご存知ですか？日頃から注意して点検していれば、防ぎえる火災から皆さんの大切な命や財産を守ることができます。今月号では火災の起きやすい電気配線の誤った使い方や安全に使用するための点検方法などについてご説明いたします。

### 危険①

### たこ足配線

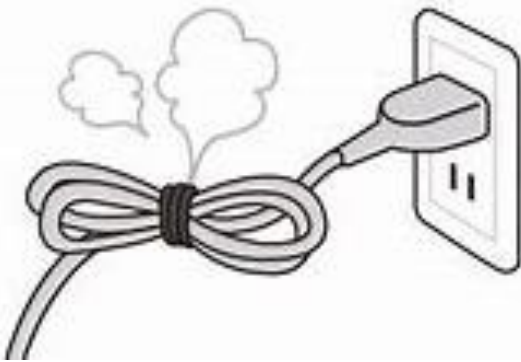


一つのコンセントには利用できる消費電力がそれぞれ決まっています、1500W（ワット）が一般的です。

そのW（ワット）数を超えて電化製品を使ってしまうと、過電流となり火災に発展する恐れがありますので大変危険です。

### 危険②

### 束ね配線



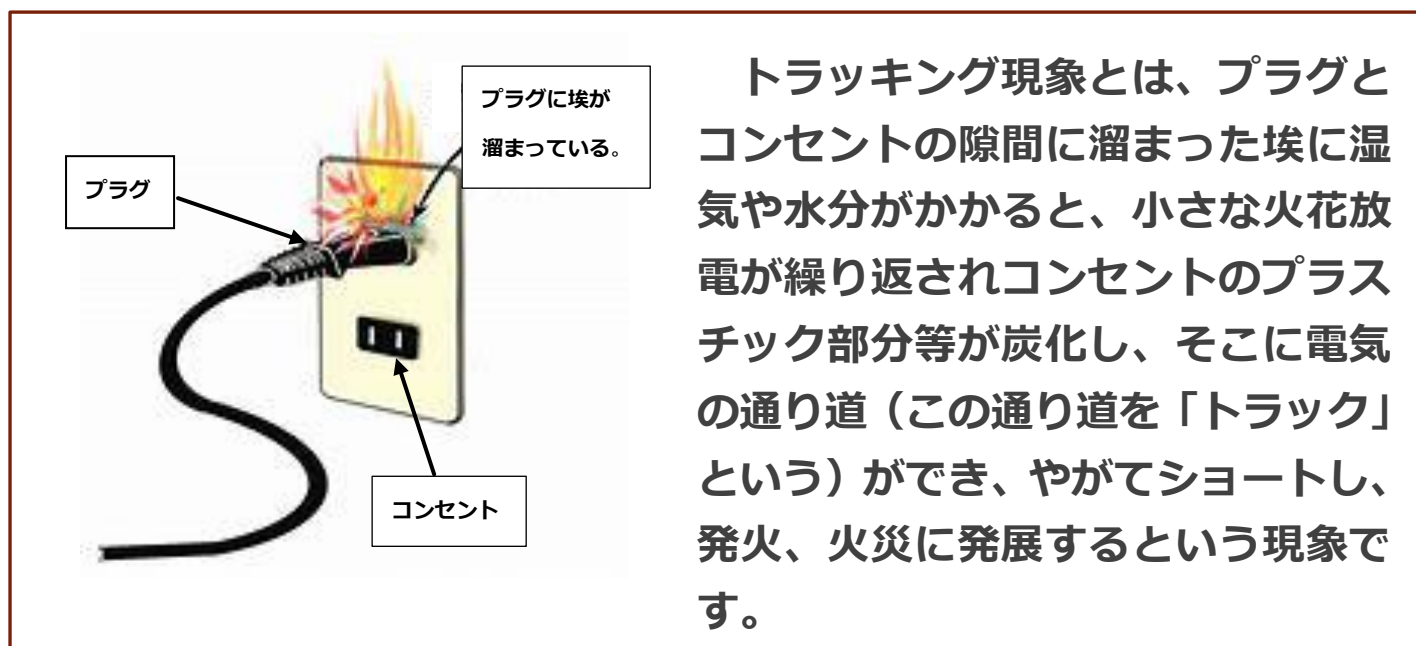
電線に電流を流すと発熱します。電気のコードは熱がこもらないように表面から周りの空間に放熱しています。束ね配線をしてしまうと熱の逃げ場がなくなりコードの被覆が溶けて、ショートする恐れがあり大変危険です。

次ページへ続く



## 危険③

# トラッキング現象



トラッキング現象とは、プラグとコンセントの隙間に溜まった埃に湿気や水分がかかると、小さな火花放電が繰り返されコンセントのプラスチック部分等が炭化し、そこに電気の通り道（この通り道を「トラック」という）ができ、やがてショートし、発火、火災に発展するという現象です。

## ～電気火災を防ごう！予防ポイント～

1. 使用しないコンセントは抜いておく！電気代も節約できます。
2. 電化製品の使用時 W（ワット）数を確認する！合計 W（ワット）数の目安は **1500W（ワット）を超えない**ように意識しましょう。
3. **束ね配線をしない！**必要な長さ分の延長コードやテーブルタップを選ぶとよいでしょう。また、コードを這わせる際に家具等で踏まないよう**断線に気を付けましょう！**
4. コンセント周りの**掃除をこまめに行う！**ただし、濡れ雑巾で拭くのはNGです！



電気火災の恐ろしいところは、留守であろうと就寝中の深夜であろうと関係なく、いつでも発生する危険性があるところです。今一度、火災の怖さを認識して、**皆さんの大切な命を守りましょう！**

一年間、今年度のいしかり「防火」通信をご覧頂きありがとうございました！新年度も「火の用心」！！

発行：石狩消防署予防課

〒061-3211 石狩市花川北1条1丁目2番地3

Tel 0133-74-7165

Fax 0133-74-9814



ホームページ



ツイッター